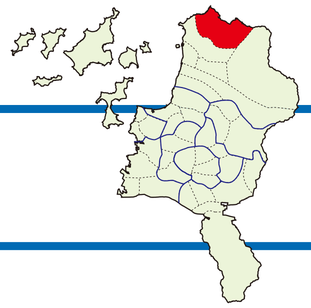


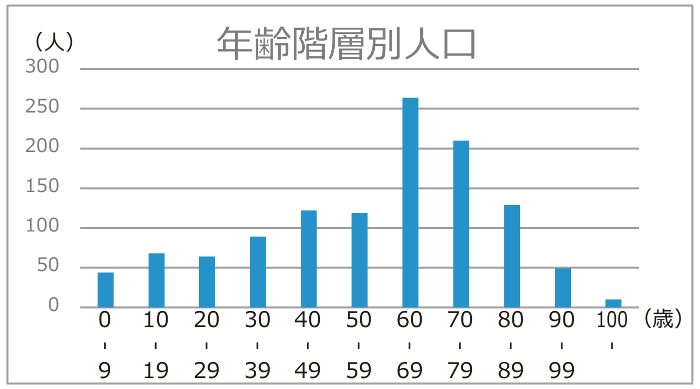
浅海地区（あさなみ）

面　積：9.04km²
人　口：1,162 人（高齢化率 48.2%）
世帯数：551 世帯

【地区の特色】

松山市の最北端に位置し、国道 196 号線に沿っている。東南に恵良山、西に腰折山、新城山、北に名石山、千波ヶ嶽と三方を山に囲まれているが、しまなみ海道の開通により交通量が増加した。最近の生活様式の多様化により兼業農家に移行しつつあり、かんきつ地帯として将来発展の道をたどる地区である。また、地区住民の協調的な意識は盛んであり、人情も細やかで各種社会教育的な行事に参加しようとする気風も高まりつつある。

ふるさと夏祭り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	・地域行事（運動会、まつり等）に多数の人が参加する ・知り合いが多い ・自然がある（海、山）　・コスモス畑 ・遍路道、遍路宿がある　・神社　・あさなみマルシェの実施 ・ＪＡ　・郵便局　・国道１９６号線沿いに位置している ・公民館、保育園、小学校教員など地域の各種団体との繋がりが強い ・近隣住民間での共助の風習がある（見守り）
地区の弱み	・医療機関がない ・スーパー、コンビニ等がない ・交通の便が悪い（バスは通っているが停まらない） ・空き家の増加　・少子化　・農業の後継者が少ない ・地区外の人がゴミを捨てる　・ゴミ収集場所が遠い
地域が抱える福祉課題	・スーパーやコンビニがなく買い物に不便 ・医療機関がない ・高齢者のゴミ出し ・交通の便が悪い ・各種団体の後継者不足 ・高齢者の増加による災害時の援護等の不安

浅海地区社会福祉協議会

思いやり・温もり・感動・笑顔の浅海

構成団体	地区民協・公民館・分館・日赤奉仕団・保護司会・小学校・保育園・PTA・消防団 高齢クラブ・区長・交通安全協会・みまもり員

主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年１回作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。
男性料理教室	男性高齢者の健康と生きがいづくりのために毎年開催しています。
独居高齢者給食サービス	地区内の独居高齢者を対象に、年間を通じて配布しています。

三世代もちつき大会（公民館事業への協力）

毎年、公民館行事として開催されていますが、地区社協をはじめとする地区内の団体や小学校が連携協力しながら、子どもから高齢者までの多くの人が参加し、伝統文化の伝承と交流が図られています。

<地区社協が目指すもの>

高齢社会をむかえ、浅海地区でも住民の半数近くが 65 歳以上となり、高齢者のふれあいの場づくりのためのふれあい・いきいきサロンや各種団体会員の高齢化による会員数の減少に伴い、活動の弱体化が課題となっています。お年寄りや子どもにやさしい地域づくりを目指して、誰もが積極的に参加できる「ふれあいの場」づくりの拡充を推進し、男性料理教室や介護予防教室の開催、公民館や小学校行事など各種催し物に積極的な協力を通じて世代間の交流を進めます。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	 5 名 2 名	■町内会・自治会・区長会等	9 団体
			■高齢クラブ	2 クラブ
			■子ども会	0 団体
	■まち協の設立	平成 28 年度	■自主防災組織	3 組織

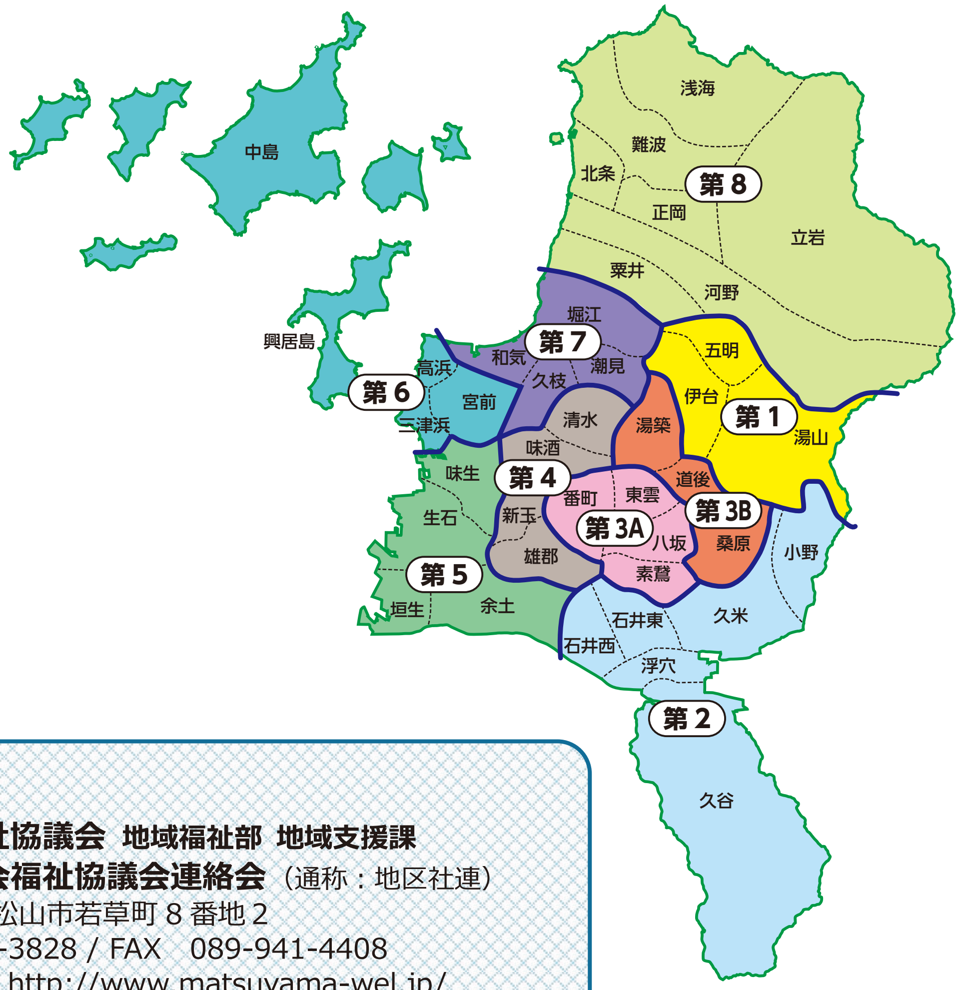
スーパーやコンビニがなく不便という地域の課題に対し「買い物をする場所を自分たちで作ろう」とまちづくり協議会を中心に「あさなみマルシェ」を開催するなど創意工夫する力とネットワークを築く力を持ち合わせた地区と言えるでしょう。また、古くから伝わる行事には家族全員が役割を担い参加する、子どもは地域みんなで見守るという体制づくりなど、自助・互助・共助の実践が地区住民の暮らしを支えています。最近では、国立社会保障・人口問題研究所（2017）の調査結果などから高齢者、特に男性の社会的孤立化が問題視されていますが、「男性料理教室」を開催するなど様々な交流の場と機会を設け子どもから高齢者まで安心した生活環境づくりに努めています。

地域カルテ　～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々の自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五 明 地 区
	伊 台 地 区
	湯 山 地 区
第2	久 米 地 区
	浮 穴 地 区
	小 野 地 区
	石井東地区
	石井西地区
	久 谷 地 区
第3 A	番 町 地 区
	八 坂 地 区
	東 雲 地 区
	素 鵞 地 区
第3 B	道 後 地 区
	湯 築 地 区
	桑 原 地 区
第4	雄 郡 地 区
	新 玉 地 区
	清 水 地 区
	味 酒 地 区
第5	余 土 地 区
	垣 生 地 区
	生 石 地 区
	味 生 地 区
第6	宮 前 地 区
	三津浜地区
	高 浜 地 区
	興居島地区
	中 島 地 区
第7	潮 見 地 区
	久 枝 地 区
	和 気 地 区
	堀 江 地 区
第8	浅 海 地 区
	立 岩 地 区
	難 波 地 区
	正 岡 地 区
	北 条 地 区
	河 野 地 区
	粟 井 地 区



発行日　平成31年3月

発　行　松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
〒790-0808　松山市若草町8番地2
TEL　089-941-3828 / FAX　089-941-4408
Web アドレス　http://www.matsuyama-wel.jp/

作　成　地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

＜『地域カルテ』の見方＞

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

①地区の概要

・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査（基準日：平成30年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（平成30年4月1日現在）
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（平成30年4月1日現在）

⑤地域福祉推進のポイント

・聖カタリナ大学　教授　恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》
教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏